

各位

上場会社名 株式会社共立メンテナンス  
 代表者 代表取締役社長 中村 幸治  
 (コード番号 9616)  
 問合せ先 常務取締役 高久 学  
 (TEL 03-5295-7778)

### 連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月14日に公表いたしました「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、公表しておりました2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)について、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

(1)2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	174,500	4,000	3,400	1,600	41.04
今回修正予想(B)	173,000	2,000	1,900	100	2.56
増減額(B-A)	△1,500	△2,000	△1,500	△1,500	
増減率(%)	△0.9	△50.0	△44.1	△93.8	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	121,281	△9,057	△9,116	△12,164	△311.98

#### (2)修正の理由

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長期化していることにより、当第2四半期累計期間の連結業績は当初の想定を下回る結果となりました。足元では、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言が全面解除され、段階的に行動制限も緩和されていることに伴い、徐々に国内需要が回復基調となっておりますが、本格的な回復のスピードは遅れていることから、2021年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想を修正いたしました。

セグメントの通期連結業績につきましては、寮事業では、当初想定していた秋の留学生の入寮が、入国制限緩和の遅れにより減少しているものの、概ね計画通りとなる見込みであります。一方で、ホテル事業では、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言等の人流抑制策が長期化した影響により、稼働率、単価ともに当初想定していた回復スピードを下回り、売上高、利益ともに伸び悩む見込みであります。なお、前期に実施のなかった不動産流動化事業が当初想定を上回る見込みであります。

当該業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により当該予想数値と異なる場合があります。